

◇ 行事報告 ◇

10月18日(日) 摩利支天月例祭

今月のお話は、日蓮聖人の御遺文で、お寺の掲示板に掲示している「今月の聖語」で紹介されました『法華経は明鏡めいきょうの中の神鏡しんきょうなり』の言葉についてです。

摩利支天月例祭の前に行われる読誦会で拝読しております「一生成仏抄」

(御経本P96)に、

『衆生けがの心汚どるれば土も汚けがれ、心清きよければ土も清えどしとて浄土と云い、穢土いと云うも土に二つの隔へだてなし。ただ我等が心の善悪ぜんあくによると見えたり。衆生と云うも仏と云うもまたかくの如し。迷う時は衆生と名づけ、悟る時をば仏と名づけたり。譬たとえば闇鏡あんきょうも磨あきぬれば玉と見ゆるが如し、只今いちねんむみょうも一念無明の迷心は磨かざる鏡なり。これを磨かば必ず法性真如ほっしょうしんによの明鏡となるべし。深く信心おこを發して、日夜朝暮おこたに又懈おこたらず磨くべし。いかようにしてか磨くべき、ただ南無妙法蓮華経と唱え奉るを、是をみがくと云うなり。(建長七年)』と『明鏡』の文字が出てまいります。

鏡の語源は「屈んで見る」であり、水面に屈んで自分自身を写して見ていた事に由来しています。鏡が無ければ自分は見えません。鏡は自分自身を写し、そして自分の



目でそれを見るのですが、目が曇っていれば正しく見る事が出来ません。正しくありのままに見ておられるのは仏様のみです。その仏様の目を「神鏡」というのです。私たちのこの曇る目を仏様に近づけ、曇りの無い明鏡にするには、「只、南無妙法蓮華経と唱えなさい。」とおっしゃっておられます。



10月12日（月）グランドゴルフ大会

コロナ渦ではありましたが、検温、マスクの着用、手の消毒をして「日蓮宗庭瀬組寺対抗」グランドゴルフ大会が開催され、妙法華寺も3チーム参加しました。個人で難波嗣郎総代が5位に入賞いたしました。

次回は、4月21日（水）の予定です。一緒に参加して、良い汗をかいてみませんか？



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

12月18日（金）午前10時より執行いたします。
本年最後のお祭りです。どうぞご参加下さい。

新年は1月18日（月）午前10時より執行いたします。

只今当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

除夜の鐘

1月1日（金）午前零時を合図に、お寺の鐘108回撞きます。
除夜の鐘は、新年を迎え、まず最初に前罪障消滅祈念し、清らかな気持ちで新年を迎える為のものです。ご参加ください。

集合時間は、31日午後11：50分です。

◇ お知らせ ◇

年回忌のおしらせ

令和3年に正当の年回忌に当たる霊位がいらっしゃる方のみ、別紙「年回忌のお知らせ」を送付させていただきます。同封のハガキにてご回答下さいますようお願いいたします。なお、前倒しにて既に年回忌供養をされておられる霊位につきましてもお知らせさせて頂いている場合がありますので、ご了承下さい。

紙札について

新年を迎えるにあたり、台所・トイレ等の紙札を新たに希望される方、御札の入れ替えを希望される方は、お寺までご連絡下さい。

合 掌